

2025 年 7 月 11 日  
株式会社 鹿児島銀行

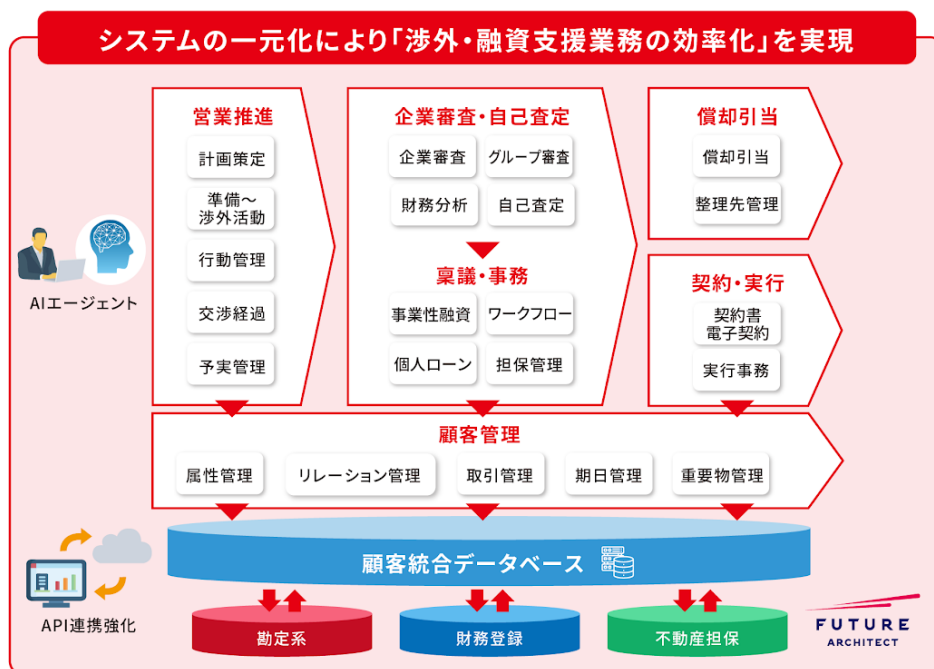
## フューチャーアーキテクトとの新融資支援システム 「次世代 KeyMan」の共同開発に向けプロジェクトを開始

鹿児島銀行(頭取 郡山明久)は、フューチャーアーキテクト株式会社(代表取締役社長 谷口友彦、以下「フューチャーアーキテクト」)と新融資支援システム「次世代 KeyMan」の共同開発に向け、2025 年 6 月よりプロジェクトを開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

当行は 2024 年度からの「第 9 次中期経営計画」において、「データ活用と業務効率化による生産性向上」を戦略の柱としています。なかでも「行内システムの最適化・連携強化」を掲げ、既存システムを集約し、優れた機能を追加した融資支援システムの再構築を目指しています。フューチャーアーキテクトとは IT 戦略パートナーとして 2002 年に融資業務の効率化と営業、事務、管理など融資にかかる全業務の情報を一つのデータベースに集約した「KeyMan」を共同開発するなど、当行の戦略実現に向けた融資支援システムの開発に関して協業してまいりました。

「次世代 KeyMan」は、当行が 2002 年以降継続的に開発してきた「KeyMan」とフューチャーアーキテクトが提供している「FutureBANK」との機能を融合することを目指し、共同開発を行います。現行の融資支援システム「KeyMan」、営業支援システム「KeyManS<sup>3</sup>」、ローン管理システム「KeyManPersonal」と大きく 3 つに分かれていたシステムを統合します。また、API を通じて内部・外部システムとのリアルタイムなデータ連携を行い、AI エージェントなどを活用したリアルタイム分析により、融資業務に関わるコミュニケーションの向上、信用リスク対策、与信判断ポイントの示唆などに活用予定です。全面的なアーキテクチャ刷新とシステム内外との連携強化により、渉外・融資支援業務の効率化ならびにサービスの向上を目指します。



## ■KeyMan とは

融資業務を効率的・効果的に遂行するためのシステム。2002 年 12 月より当行にて稼動。営業、事務、管理など融資に係る全業務を一つのデータベースに集約することで、融資支援のみならず、経営管理ツールとしても活用しています。

《主な機能》

顧客管理・企業審査・重要物管理・債権管理・自己査定・案件審査

## ■KeyManS<sup>3</sup> とは

日々の営業活動や融資業務プロセスを通じて蓄積される顧客情報を元に科学的なマーケティングを行い、その結果を営業活動や信用リスク管理に活用する営業戦略サポートシステム。2003 年 9 月より当行にて稼動。融資支援システム「KeyMan」に日々蓄積される膨大な融資業務の取引情報を主な情報供給源としており、お客さまとのさらなるリレーションシップを重視した金融サービスを提供しています。

《主な機能》

予実績管理・一覧分析・条件検索・顧客分析

## ■KeyManPersonal とは

個人ローンに関する業務処理支援システム

## ■FutureBANK とは

フューチャーアーキテクトが全国 30 行以上の地域金融機関に提供する「システム」と「コンサルティングサービス」をもとに開発した戦略業務系ソリューションです。顧客統合データベースを基盤とし、融資業務を中心に営業管理をはじめ契約管理や収益管理、生産性分析まで金融機関の店舗運営に必要な一連の業務サービスを統合的に提供します。

[https://www.future.co.jp/architect/our\\_service/solution/#futurebank](https://www.future.co.jp/architect/our_service/solution/#futurebank)

## 対応するSDGs



目標 8. 働きがいも経済成長も

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 融資部

TEL : 099-227-2508 (ダイヤルイン)